

直昇電動オーバードア

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

<施工の前に>

■正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

■設置場所の確認

- 施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- 主屋の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
- 開閉時に扉が公道(道路)などへ飛び出さない位置かどうか確認してください。

■規格表、梱包明細で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

■組立、施工途中では

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け固定してください。
- 取付説明書の順序通り組付けてください。製品の強度等、性能を低下させる場合があります。
- アルミ製品と銅板やラスなどの異種金属が接触しないようにしてください。

■基礎工事について

- 基礎寸法は、取付説明書の通りの寸法としてください。地盤の種類によっては、倒壊の危険性が発生します。
- 基礎コンクリートには、塩分を含む砂、および塩素系のモルタル混和剤を使用しないでください。

■この商品は、過電流保護付き漏電ブレーカーの設置とアース工事(D種接地工事)が必要です。

電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。

■製品の改造は絶対に行わないでください。

■施工完了後は

- ボルト、ネジなどに緩みがないか確認してください。
- 施工中の汚れは取除き、誤ってつけたキズは、補修塗装してください。

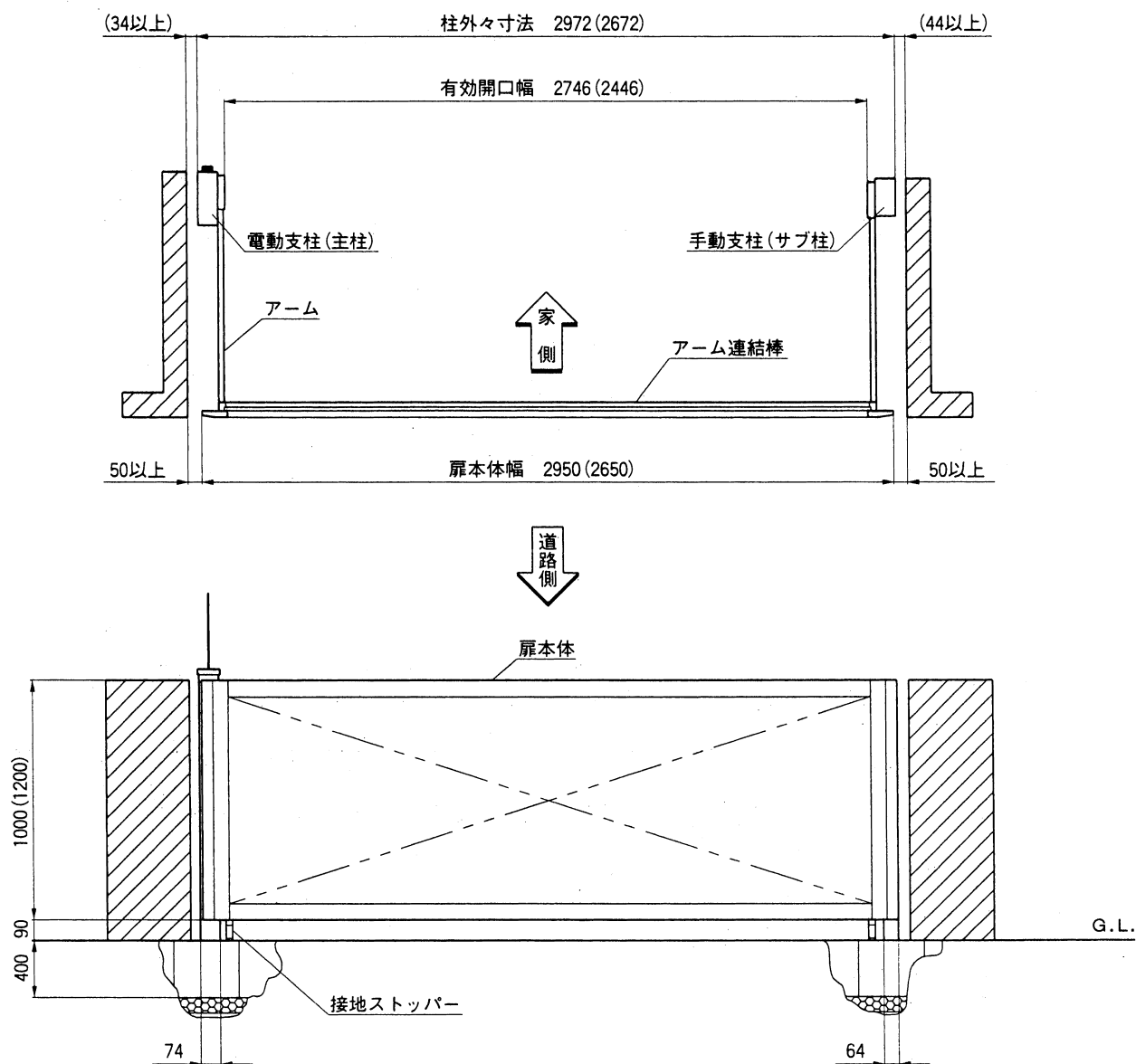
■施工終了後、取付説明書は取扱説明書といっしょに施主様にお渡しください。

<施主様へ>

■使用前に必ず<取扱説明書>をお読みください。

1.各部の名称および基本寸法図

1-1 オーバードア(W27・30型)

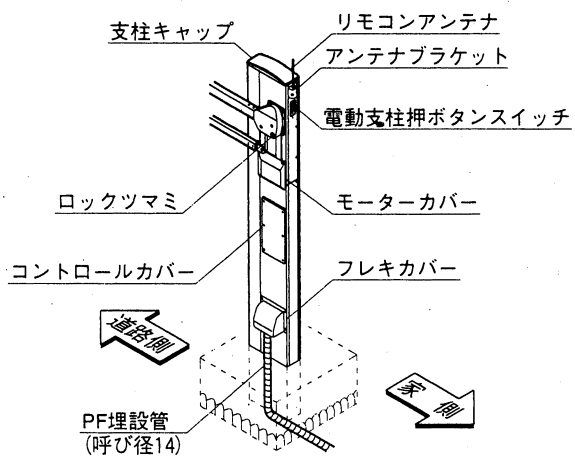


() 内寸法 W : 27型

() 内寸法 H : 12

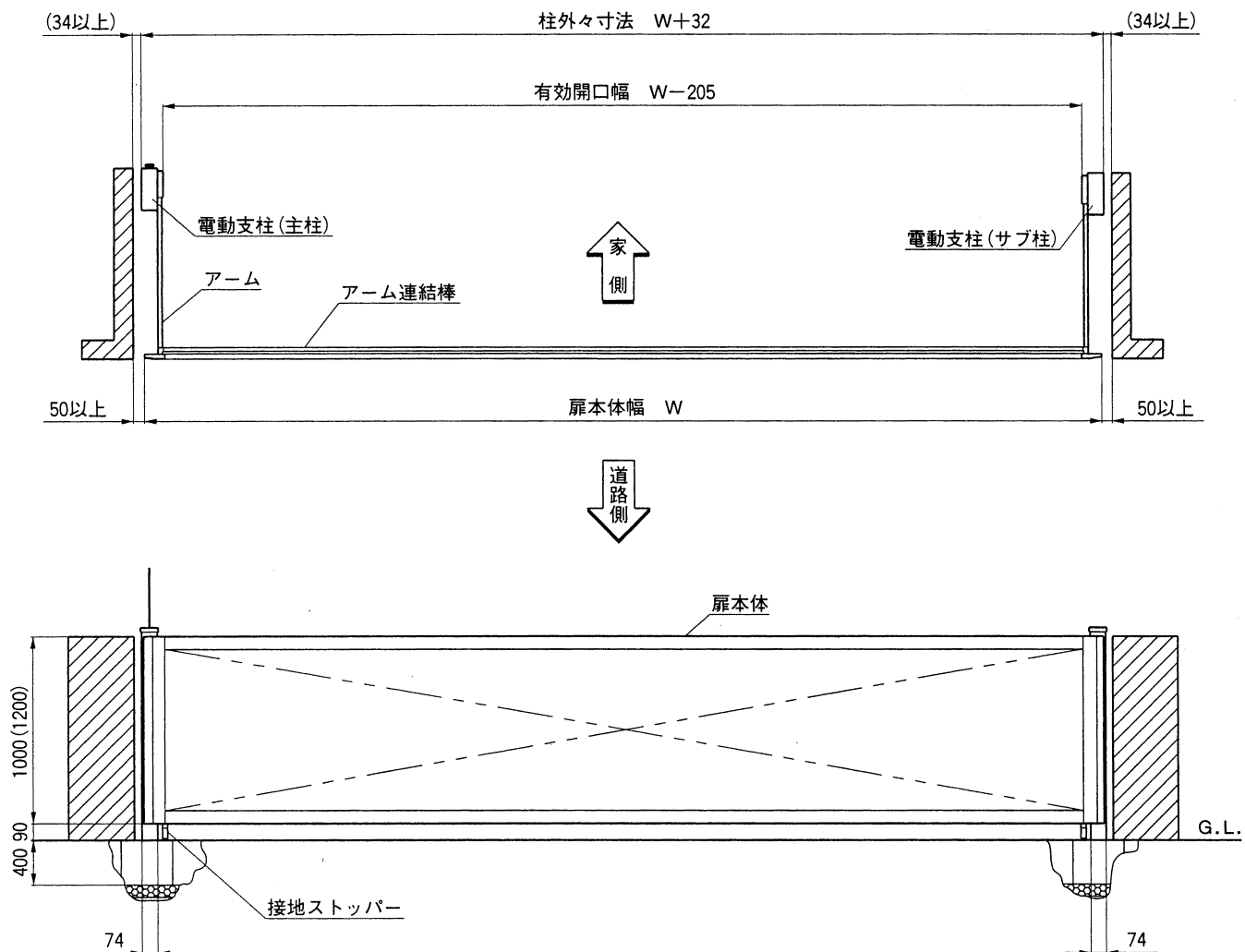
<注 意>

- 本図は、W30型 H10扉本体とH標準支柱を示します。



電動支柱(主柱)詳細図

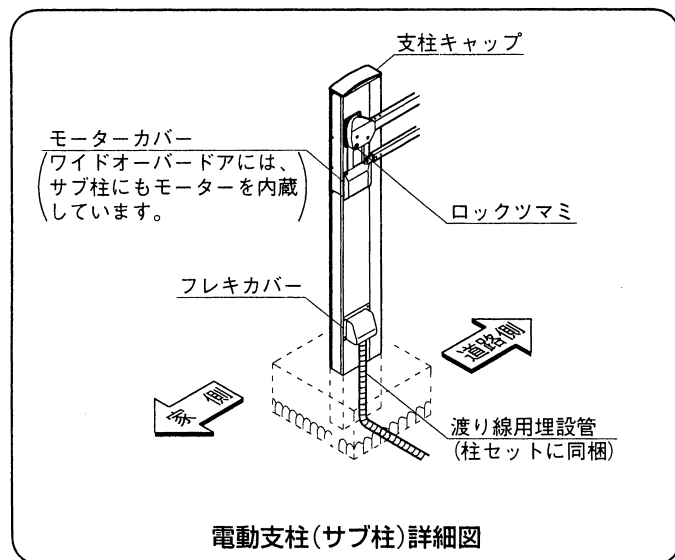
1-2 ワイドオーバードア (W33~60型)



() 内寸法 H : 12

<注 意>

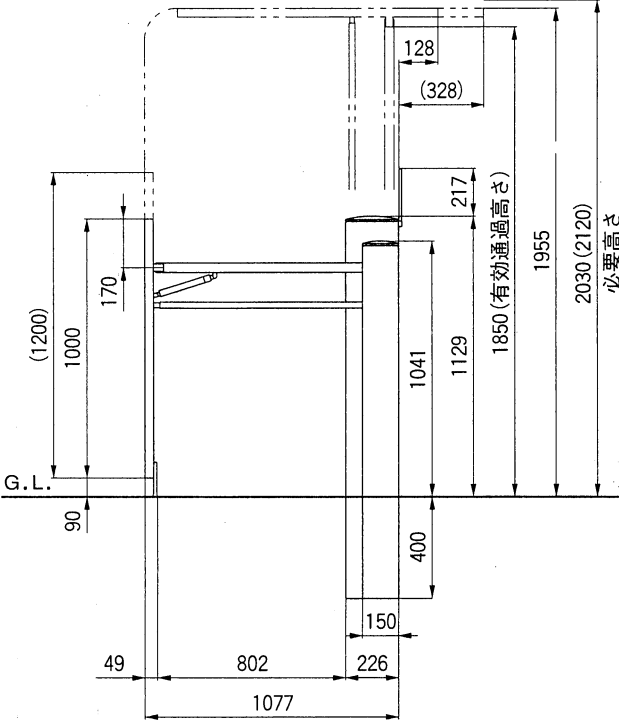
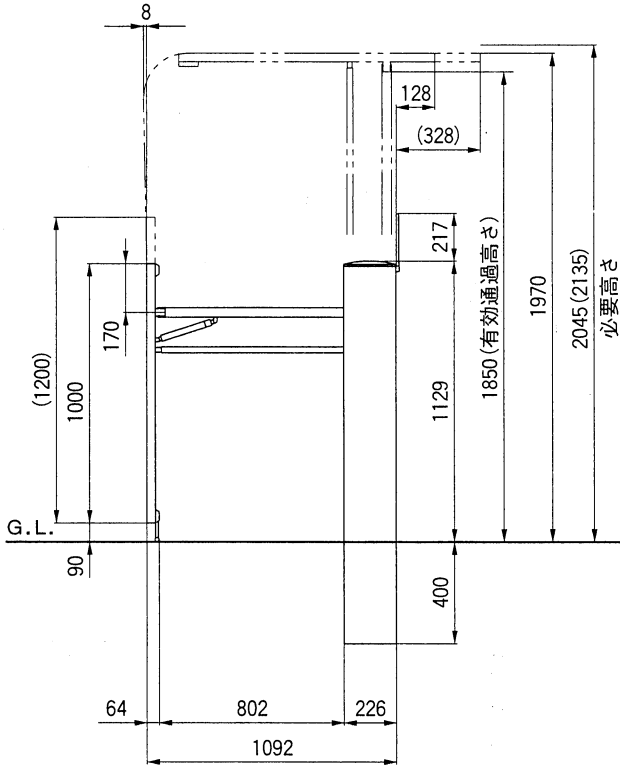
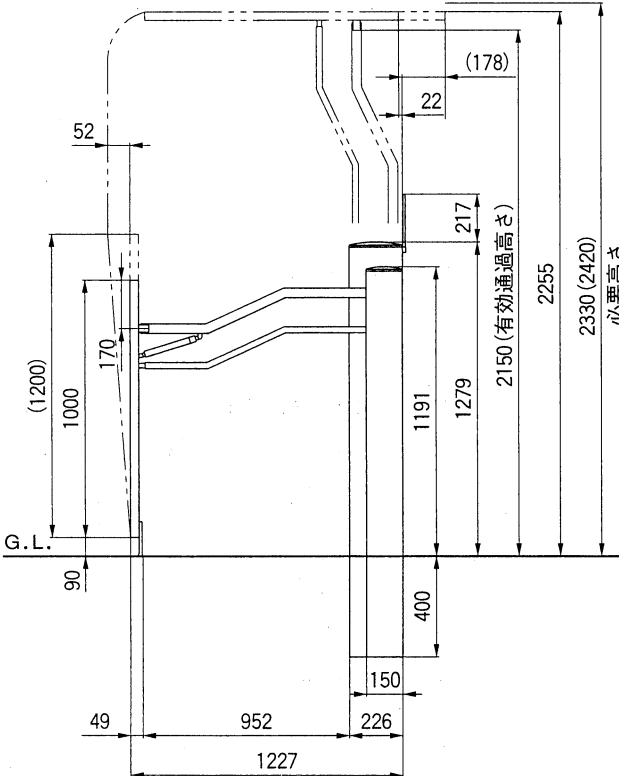
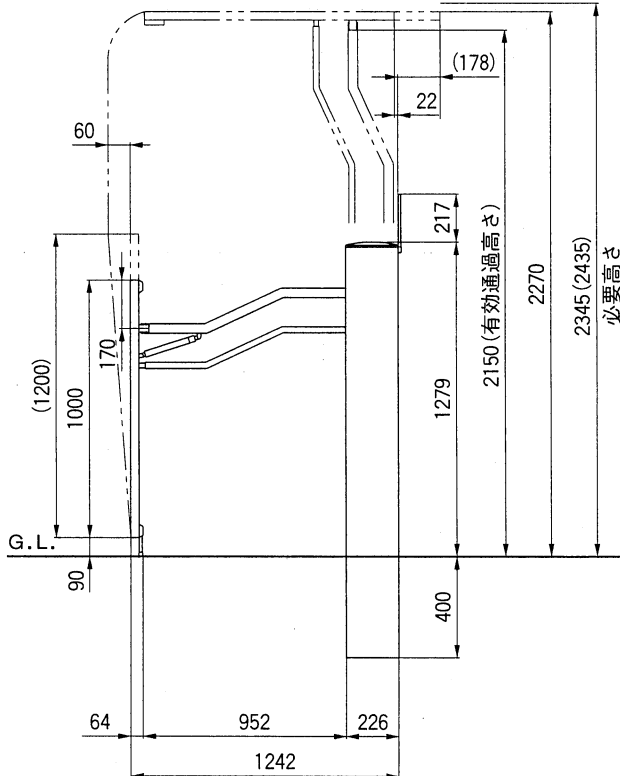
- 本図は、W51型 H10扉本体とH標準支柱を示します。



サイズ	扉本体幅	柱外々寸法	有効開口幅
33型	3250	3282	3045
36型	3550	3582	3345
39型	3850	3882	3645
42型	4150	4182	3945
45型	4450	4482	4245
48型	4750	4782	4545
51型	5050	5082	4845
54型	5350	5382	5145
57型	5650	5682	5445
60型	5950	5982	5745

1. つづき

() 内寸法は扉本体H12の場合

W H	オーバードア (W27・30型)	ワイドオーバードア (W33~60型)
標準		
ハイルーフ		

2. 梱包明細書

①柱セット

名 称	員 数			
	W27・30型		ワイドオーバードア	
	H標準	Hハイルーフ	H標準	Hハイルーフ
電動支柱(支柱)標準用	1	—	1	—
電動支柱(支柱)ハイルーフ用	—	1	—	1
電動支柱(サブ柱)標準用	—	—	1	—
電動支柱(サブ柱)ハイルーフ用	—	—	—	1
手動支柱(サブ柱)標準用	1	—	—	—
手動支柱(サブ柱)ハイルーフ用	—	1	—	—
上アーム・標準用	2	—	2	—
下アーム・標準用	2	—	2	—
上アーム・ハイルーフ用	—	2	—	2
下アーム(右)・ハイルーフ用	—	1	—	1
下アーム(左)・ハイルーフ用	—	1	—	1
扉取付金具補助スプリングユニットASSY(右)	1	1	1	1
扉取付金具補助スプリングユニットASSY(左)	1	1	1	1
扉取付金具裏板	2	2	2	2
接地ストッパーセット	2	2	2	2
リモコン送信器(小箱入)	1	1	2	2
リモコンアンテナ	1	1	1	1
フレキカバー	1	1	2	2
渡り線用埋設管(配線付) 呼び16(6.5m)	—	—	1	1
扉取付ボルト M8×15(Wセムス)	4	4	4	4
扉取付金具取付ネジ M6×12バインド(セムス)	12	12	12	12
アーム取付ネジ M6×12バインド(セムス)	12	12	12	12
アーム連結棒取付ネジ M6×12バインド(セムス)	8	8	8	8
アーム連結棒固定バンド	—	—	1	1
アーム連結棒固定バンド取付ネジ φ4×19ピース	—	—	1	1
フレキカバー取付ネジ φ4×10トラスタッピン	4	4	8	8
補助スプリングユニット 取付ピン	2	2	2	2
補助スプリングユニット 取付六角袋ナット	2	2	2	2
補助スプリングユニット 取付平座金 呼び5	2	2	2	2
支柱キャップ 電動柱	1	1	2	2
支柱キャップ 手動柱	1	1	2	2
φ4×10トラスタッピン	4	4	4	4

名 称	員 数			
	W27・30型		ワイドオーバードア	
	H標準	Hハイルーフ	H標準	Hハイルーフ
取付説明書	1	1	1	1
施主様用取扱説明書	1	1	1	1
保証書	1	1	1	1

②扉セット

名 称	員 数
本体	1
框キャップ(右)	1
框キャップ(左)	1

③直昇用連結棒

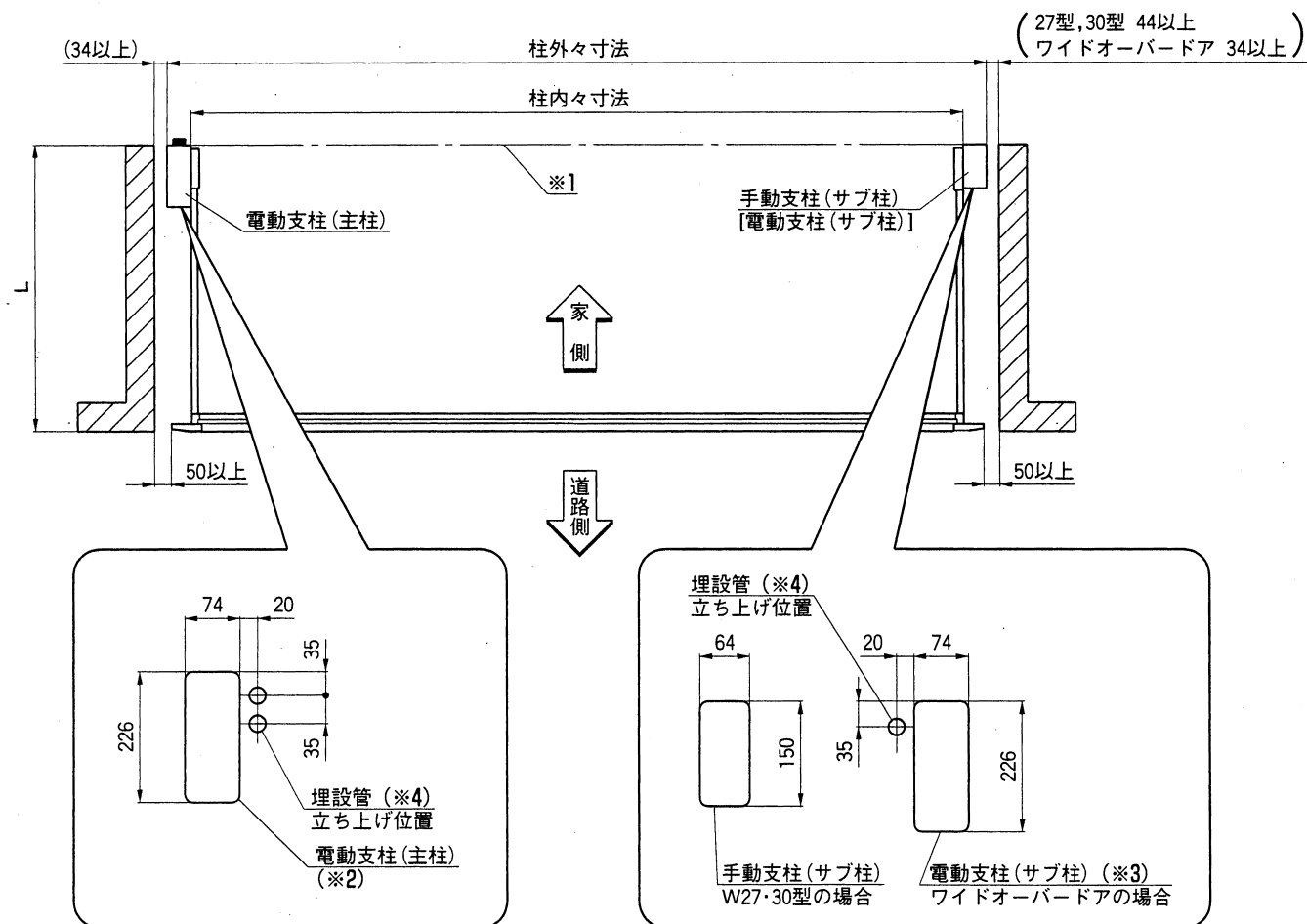
名 称	員 数
アーム連結棒	1

④オプション

名 称
リモコン送信器セット<KYZ73>
外部押しボタンスイッチセット<KUK51>
ロング接地ストッパーセット<+100mm>電動用<KNF73>
ロング接地ストッパーセット<+200mm>電動用<KNF74>
リモコン送信器アンテナ延長ケーブルセット(ケーブル長さ3m)<KYZ81>
過電流保護付漏電ブレーカー(BJS1521)<KNF76>
アース棒(WV4030)<KNF77>

3.基礎施工寸法

3-1 施工寸法図

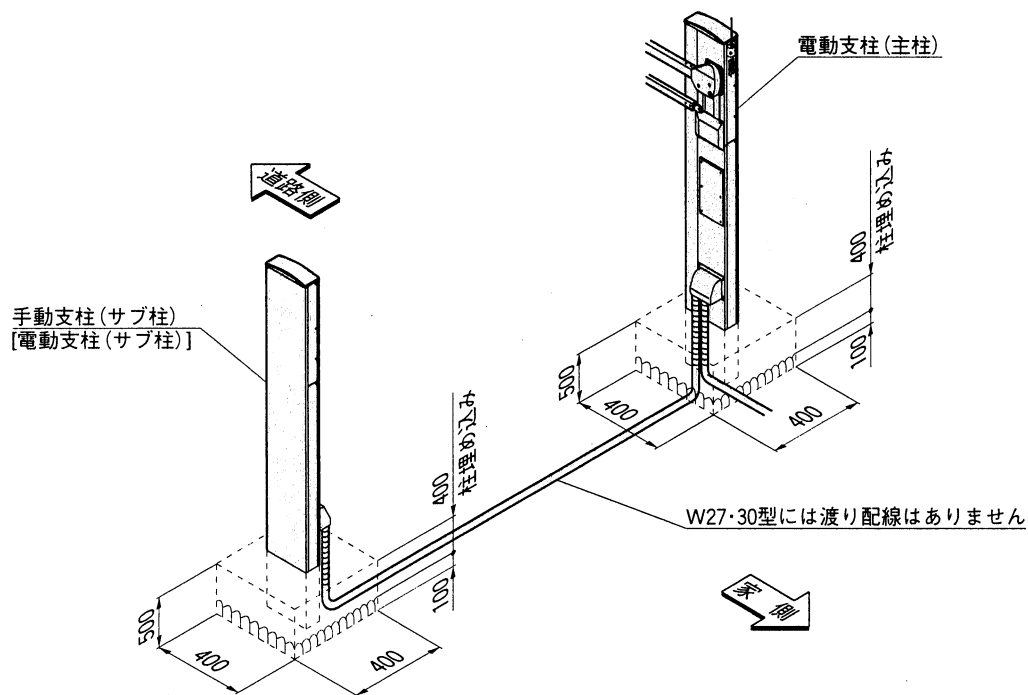


<注 意>

- 柱の家側を一直線上にして下さい。(※1)
- 電動支柱(主柱)側にAC100V用の配管が必要となります。(※2)
- ワイドオーバードアの場合、電動支柱(主柱)と電動支柱(サブ柱)の間に渡り線用の配管(柱セットに同梱)が必要となります。(※3)
- 埋設管はG.L.から120mm以上立ち上げて下さい。(※4)

	サイズ	柱外々寸法	柱内々寸法	L	
				H標準	Hハイルーフ
オーバードア	27型	2672	2534	1077	1227
	30型	2972	2834	1077	1227
ワイドオーバードア	33型	3282	3134	1092	1242
	36型	3582	3434	1092	1242
	39型	3882	3734	1092	1242
	42型	4182	4034	1092	1242
	45型	4482	4334	1092	1242
	48型	4782	4634	1092	1242
	51型	5082	4934	1092	1242
	54型	5382	5234	1092	1242
	57型	5682	5534	1092	1242
	60型	5982	5834	1092	1242

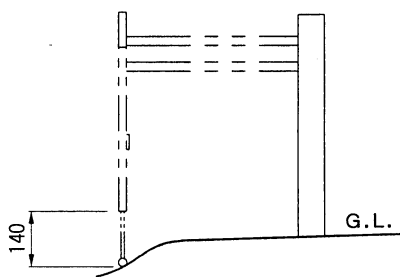
3-2 基礎寸法図



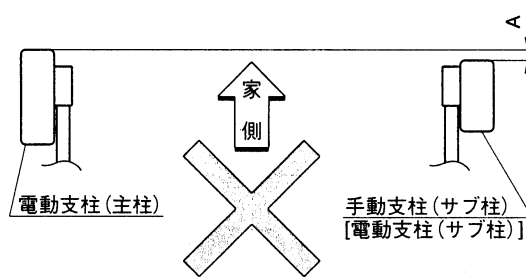
<注意>

- 支柱の埋込み位置・高さ・垂直度・水平度を十分に調整して下さい。調整が不十分な場合、扉の作動に支障が生じる事があります。

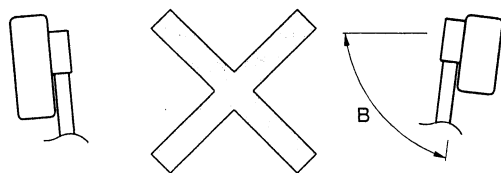
<施工時の注意>



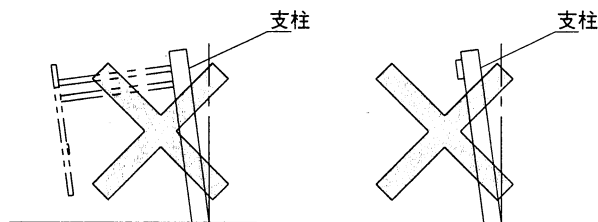
- 水切勾配がある所に施工するときは、支柱埋込位置と扉取付位置との勾配差をできるだけ少なくして下さい。最大140mmまで調整できます。それ以上すき間があるときは、オプションのロング接地ストッパーセットを使用して下さい。(＋100mm, ＋200mm対応可)



- 左右の支柱が前後にずれないように施工して下さい。(A寸法が0であること。)



- 左右の支柱を平行に、施工して下さい。(B角度が90°であること。)



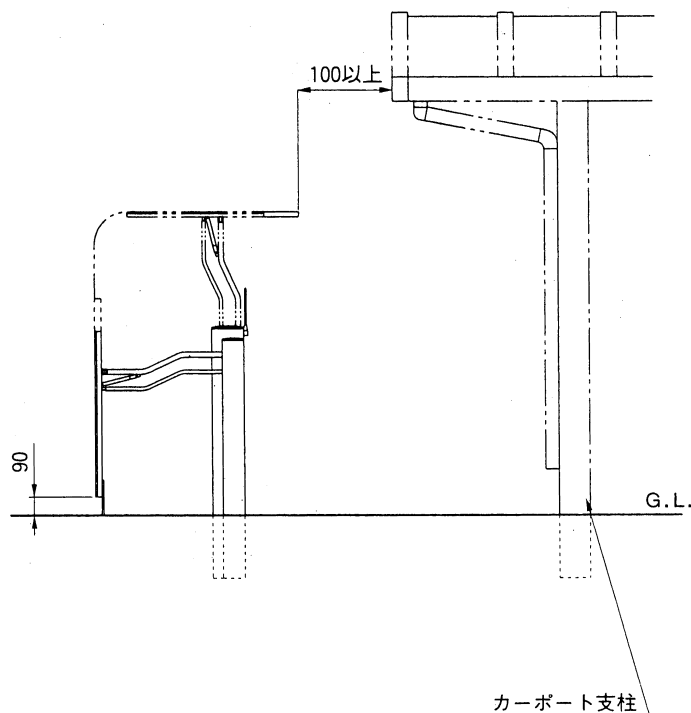
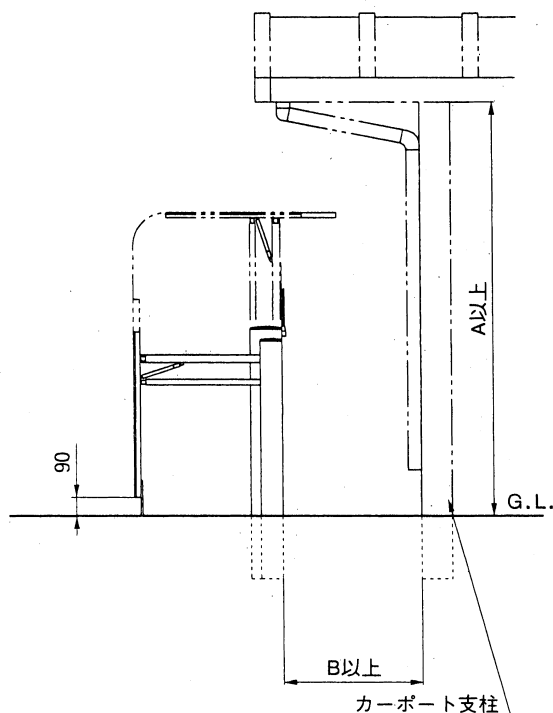
- 左右の支柱を水準器で確認し、垂直に施工して下さい。

3. つづき

3-3 カーポートとの位置関係図

<カーポートの下に入れた場合の施工例>

<カーポートの外に出した場合の施工例>

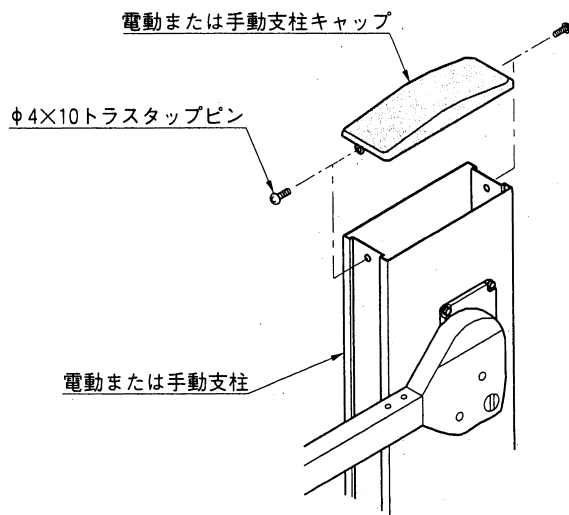


<注 意>

- カーポートの下に入れる場合、カーポートはすべてロング柱の使用が条件となります。
- カーポートの下に入れる場合、A及びB寸法を各カーポートの取付説明書を参照し施工してください。
A及びB寸法が不足すると、扉をあけた時に扉がカーポートに当たり、開閉できない場合があります。
- Hハイルーフの場合、カーポートの下に入れる施工はできません。カーポートの外に出して(桁下からずらして)施工してください。

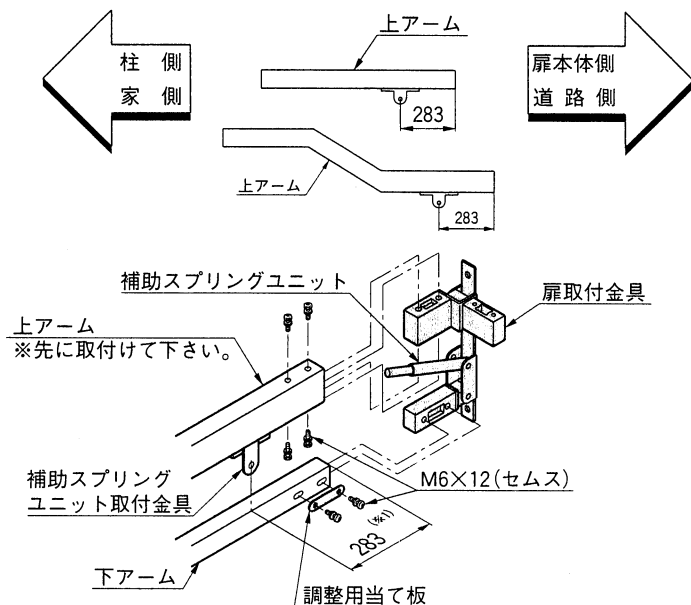
4. 支柱キャップの取付け

※ 支柱を埋設する前に必ず支柱キャップを取付けてください。
支柱内に雨水等が入り、故障の原因となります。



- ① 電動支柱と手動支柱に、それぞれ支柱キャップを支柱キャップ取付けネジ(φ4×10トラスタップピン)で取付けてください。

5. 扉取付金具の取付け



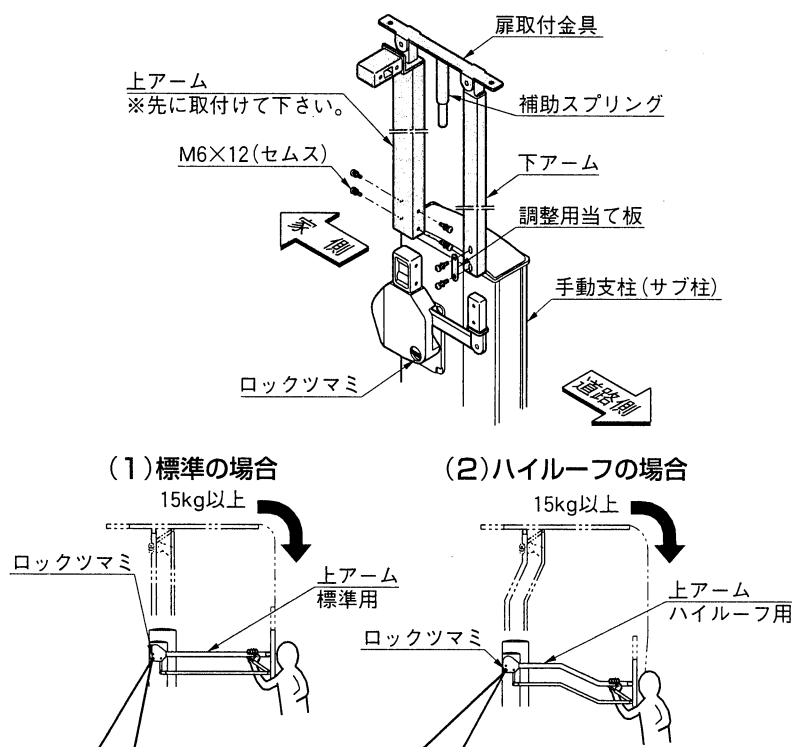
- ① 扉取付金具(右)(左)に上アームを、扉取付金具取付ネジ(M6×12セムス)で取付けてください。
- ② 扉取付金具(右)(左)に下アームを調整用当て板を用い、扉取付金具取付ネジ(M6×12セムス)で取付けてください。

<注意>

- (※1) 上アームの補助スプリングユニット取付金具の位置に注意してください。端部より283mmの位置を扉側にしてください。
- 下アームは長穴の中心で取付け、施工後扉が垂直になるよう前後に調整してください。
- ハイルーフの場合、アームを取付ける向きに注意してください。また、下アームには左右がありますので注意してください。

6. アームの取付け

6-1 手動支柱(サブ柱)のアーム取付け(W27・30型の場合)



ロックツマミを押し込んで、ツマミが水平な状態になるまで回してください。



解除状態



ロック状態

- ① 扉取付金具を取付けた上アームを、アーム取付ネジ(M6×12セムス)で取付けてください。
- ② 扉取付金具を取付けた下アームを、アーム取付ネジ(M6×12セムス)で取付けてください。

<注意>

- 扉取付金具には左右がありますので確認の上、取付けてください。
- ③ アームを取付けた後、上アームが水平になるように回転させてください。

<注意>

- 必ずロック解除状態でアームを回転させてください。
- できるだけ上アームの先端を握って回転させてください。握る位置が支柱に近づくほど大きな力が必要です。
- アームを回転させるには15kg以上の力が必要です。アームの回転の途中で手を離すとアームが跳ね上がり、駆動部が破損してしまいます。

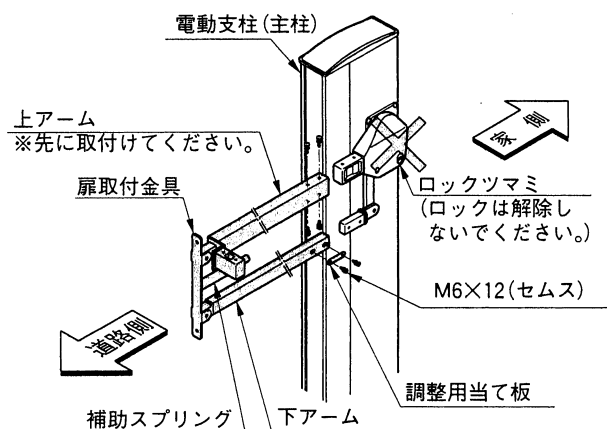
- ④ 上アームが水平な状態で、ロックツマミを押し込んでアームをロックしてください。

<注意>

- 扉の取付けが終わるまでロックは解除しないでください。ロックを解除するとアームが跳ね上がり危険です。ケガをするおそれがあり、また駆動部が破損してしまいます。

6. つづき

6-2 電動支柱(主柱)のアーム取付け



- ① 扉取付金具を取付けた上アームを、アーム取付ネジ(M6×12セムス)で取付けてください。
- ② 扉取付金具を取付けた下アームを、アーム取付ネジ(M6×12セムス)で取付けてください。

<注意>

- 扉取付金具には左右がありますので確認の上、取付けてください。
- 扉の取付けが終わるまでロックは解除しないでください。ロックを解除するとアームが跳ね上がり、駆動部が破損してしまいます。

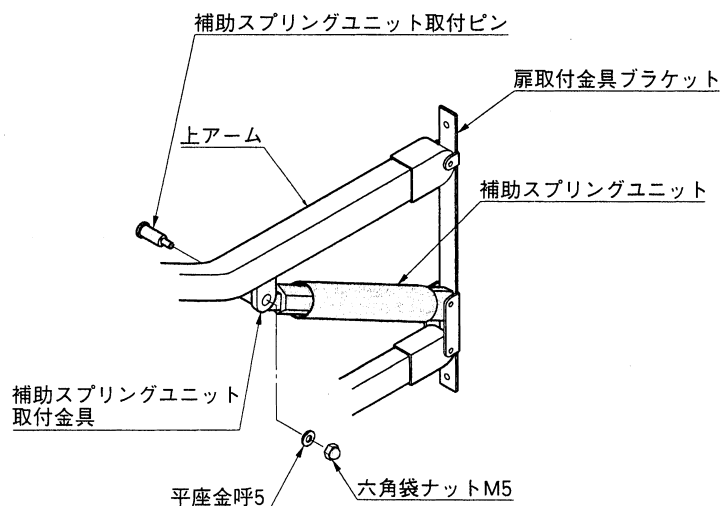
6-3 電動支柱(サブ柱)のアーム取付け(ワイドオーバードアの場合)

- ① 「6-2 電動支柱(主柱)のアーム取付け」と同様に取付けてください。

<注意>

- 扉取付金具には左右がありますので、確認の上取付けてください。
- 扉の取付けが終わるまでロックは解除しないで下さい。ロックを解除するとアームが跳ね上がり、駆動部が破損してしまいます。

7. 補助スプリングユニットの取付け



- ① アームを少し下側に押し込み、補助スプリングユニットおよび上アームの取付金具の穴へ補助スプリングユニット取付ピンを挿入してください。

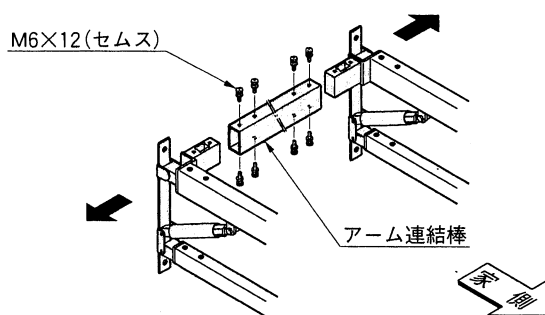
<注意>

- バネの力により上側へアームが向いている為下側へ押し、アームを水平にして挿入してください。
- ② 平座金呼5と六角袋ナットで確実に締めこんでください。

<注意>

- 取付ピン、六角ナットをスパナを用いて確実に締め込んでください。

8. アーム連結棒の取付け



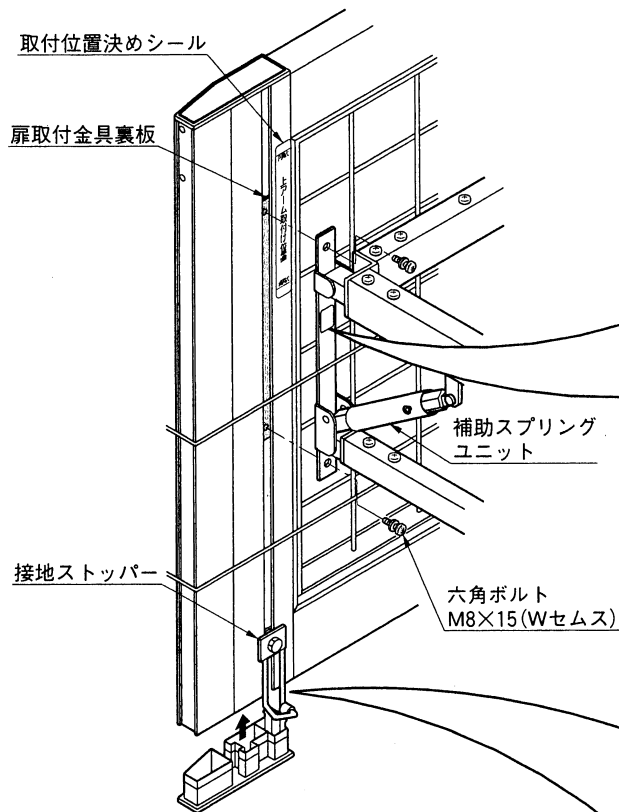
- ① 左右のアームを少し横に広げてアーム連結棒を扉取付金具に差込み、アーム連結棒取付ネジ(M6×12セムス)で取付けてください。

<注意>

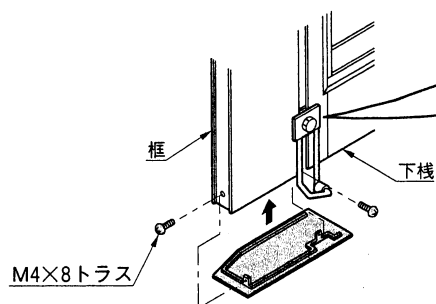
- アーム連結棒を取付けるネジはしっかり締めつけて下さい。しっかり締めつけないと扉の開閉に支障を来します。

9.扉の取付け

(1) W27・30型の場合



(2) ワイドオーバードアの場合



- ❶ 扉取付金具裏板を框の下からミゾに差込み、扉とアームを取付けます。
- ❷ 扉取付金具裏板に付いているシールの線と、扉本体に付いている「取付位置決めシール」の中の「直昇式」の中心の線に合わせて扉取付ボルト(M8×15Wセムス)で取付けてください。

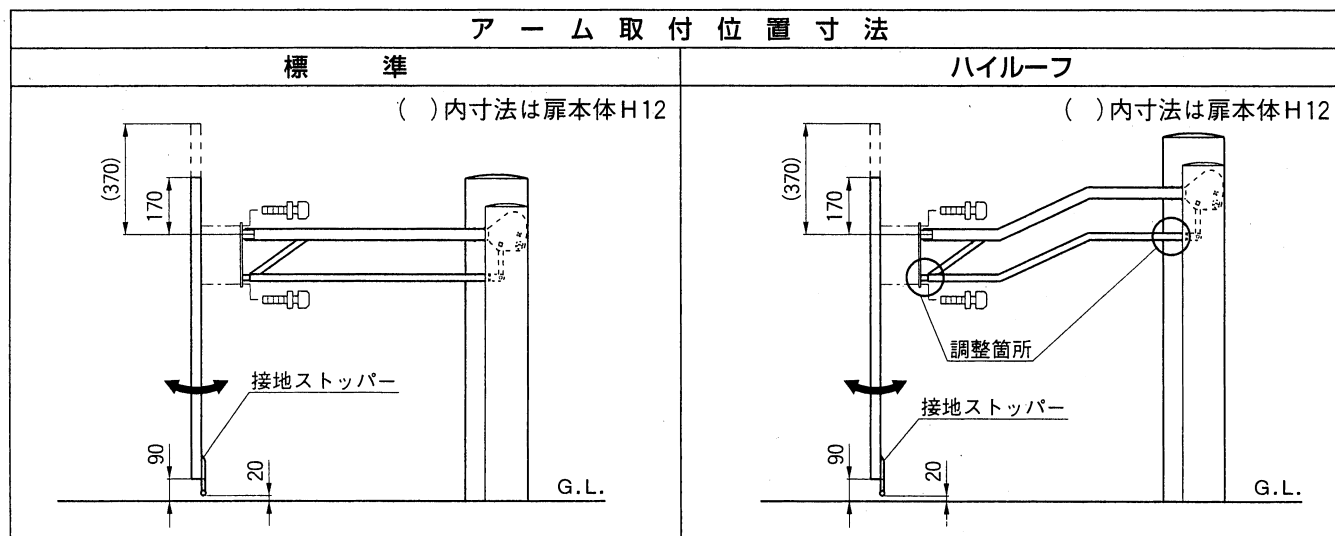
<注意>

- 扉とアームの取付け位置がずれていると電動での扉の開閉に支障を来します。アームの取付け位置、取付け寸法を必ず確認してください。(12ページC図参照)
- ❸ 接地ストッパーを取付けてください。

<注意>

- 接地ストッパーはG.L.から20mm浮かせた状態で仮止めをしてください。電動で扉を開閉した後、最終位置決めをします。(23ページ「18-2 接地ストッパーの位置決め」参照)
- ❹ W27・30型の場合、キャップのツメが金具に引っかかるように押し込んでください。また、ワイドオーバードアの場合、M4×8トラスネジ2本にて取付けてください。

9. つづき

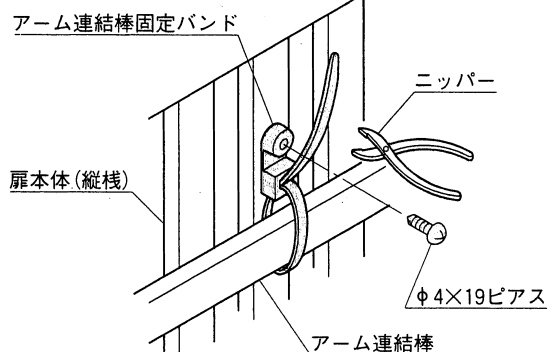
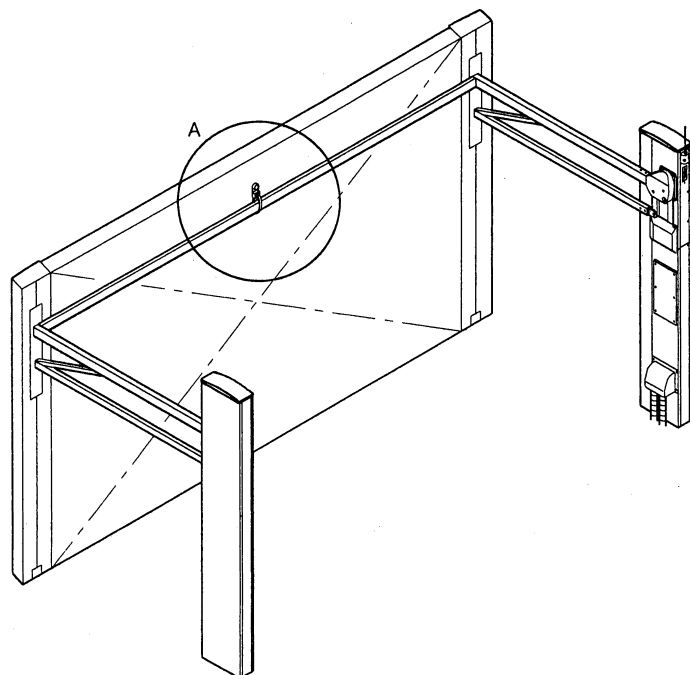


C図

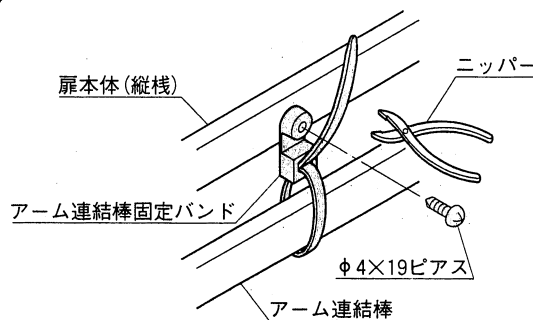
<注意>

- 扉取付け後、扉が垂直になるよう下アーム部で調整して下さい。

10. アーム連結棒固定バンドの取付け (ワイドオーバードアの場合のみ)



A部詳細図(縦棧)



A部詳細図(横棧)

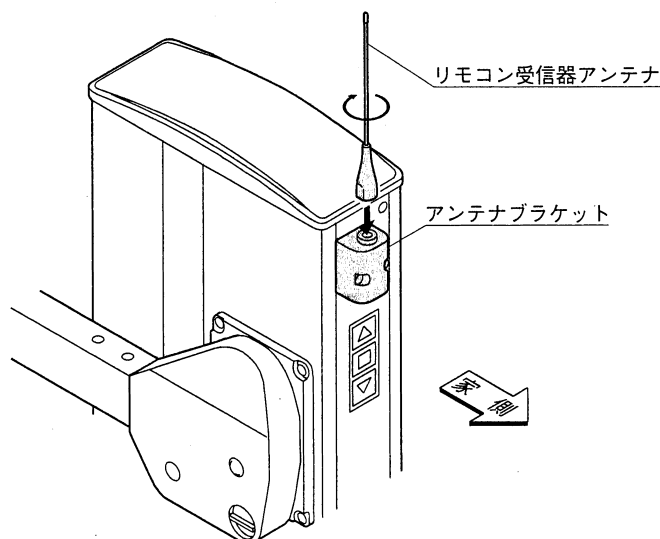
- ① アーム連結棒の中心部にアーム固定バンドを巻き、扉本体の横棧または縦棧にφ2の下孔をあけ、アーム連結棒固定バンド取付ネジ(φ4×19ピース)で組付けます。あまったバンドはニッパー等で切断して下さい。

<注意>

- ワイドオーバードアの場合、扉の開閉時に連結棒のゆれを防ぐため必ず固定バンドで固定して下さい。
- 固定バンドを締め付けすぎないようにして下さい。

11. リモコン受信器アンテナの取付け

11-1 本体に取付ける場合

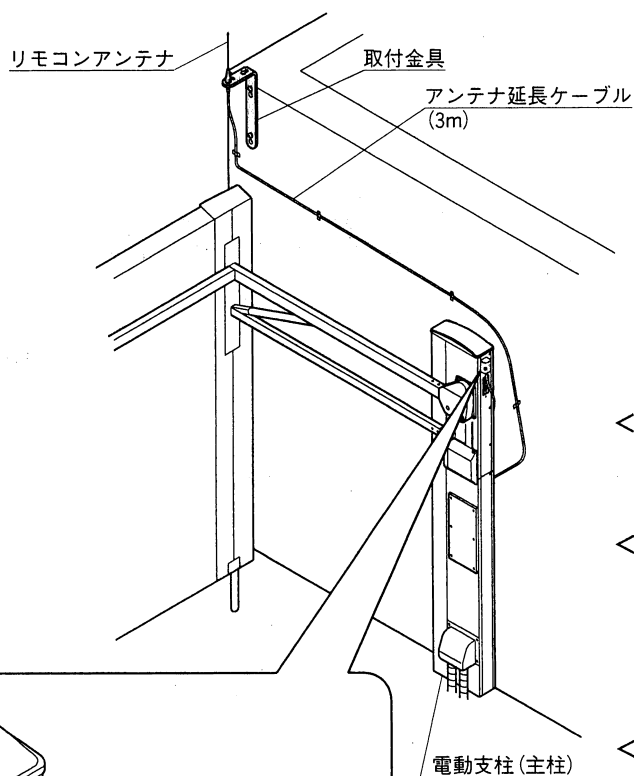


- ① リモコン受信器アンテナを、電動支柱(主柱)上部にあるアンテナブラケットのコネクター部に取付けて下さい。

<注 意>

- 受信感度に影響が出ますので、スパナ等の工具を使用し、しっかり根元まで固定して下さい。

11-2 アンテナ延長ケーブルセット(オプション)を使用する場合



リモコン受信器アンテナが壁などに隠れ、リモコン到達距離が短くなる場合があります。そういうときは、オプションのアンテナ延長ケーブルセットでアンテナを見通しの良い場所に別設して下さい。

<本体とアンテナ延長ケーブルの取付け>

- ① アンテナブラケットをはずし、上下逆に取付けて下さい。(コネクター下向き)

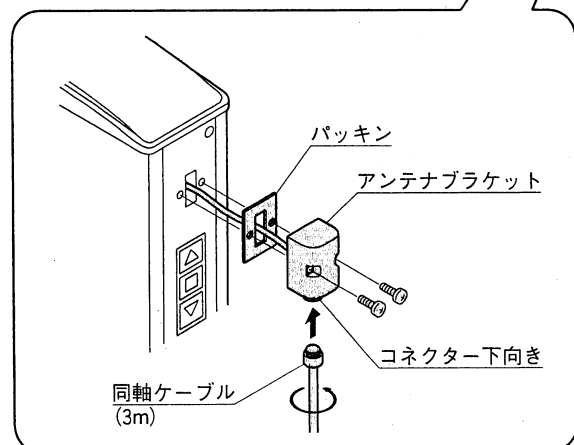
<注 意>

- パッキンは必ず取付けて下さい。

- ② コネクターにアンテナ延長ケーブルを取付けて下さい。

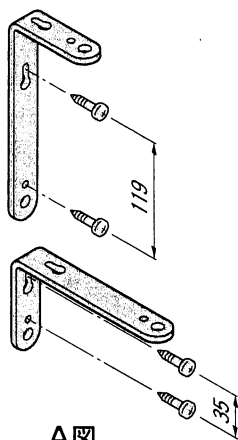
<注 意>

- コネクターを下向きに取付けないと故障の原因となります。
- 延長ケーブルを取付ける場合、必ずアンテナブラケットに取付けて下さい。

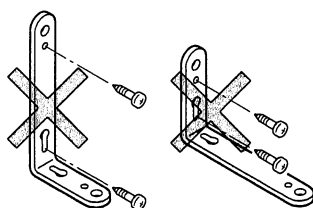


11. つづき

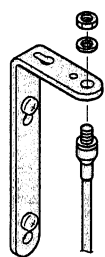
11-2 つづき



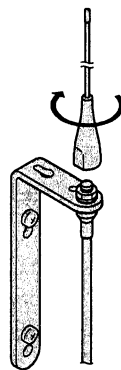
A図



B図



C図



<アンテナの取付け>

- ① アンテナ取付金具を壁に固定して下さい。(A図参照)

<注意>

- 取付金具はできるだけ高く、金属の構造物から離れた位置に取付けて下さい。
- 金属に近い場合は、A図のように取付けて下さい。
- B図のような取付けはしないで下さい。

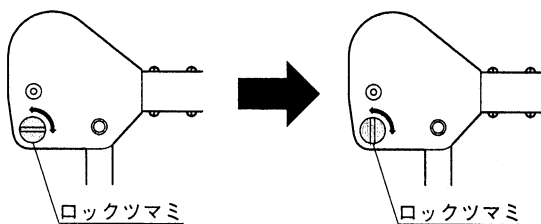
- ② ケーブルを取付けて下さい。(ケーブルの長さは3mです。)(C図参照)

- ③ アンテナを取付けて下さい。(C図参照)

<注意>

- 受信感度に影響が出ますので、スパナ等の工具を使用し、しっかり根元まで固定して下さい。

12. ロックツマミの解除



ロック状態

解除状態

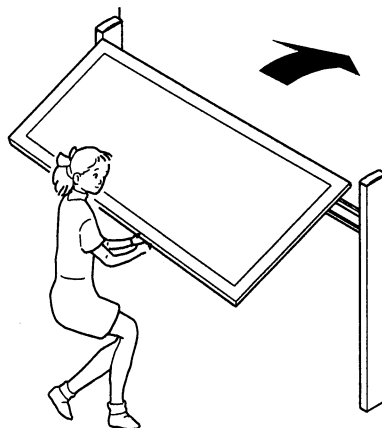
電動支柱(主柱)と手動支柱(サブ柱)[または電動支柱(サブ柱)]のロックツマミを解除します。

- ① ロックツマミを押し込んで、ツマミが垂直な状態になるまで回して下さい。

<注意>

- 電動または手動で扉を開ける場合は、必ずロック解除をして下さい。ロック状態のまま扉を開けると、駆動部が破損する恐れがあります。

13. 手動での動作確認



- ① 施工がすべて終了しましたら、扉の中心部を手で持ちゆっくり扉を全開にして動作確認して下さい。

<注意>

- 扉を手で動かすには、約15~20kgの力が必要となります。重いのでゆっくり動かして下さい。

14. 配線

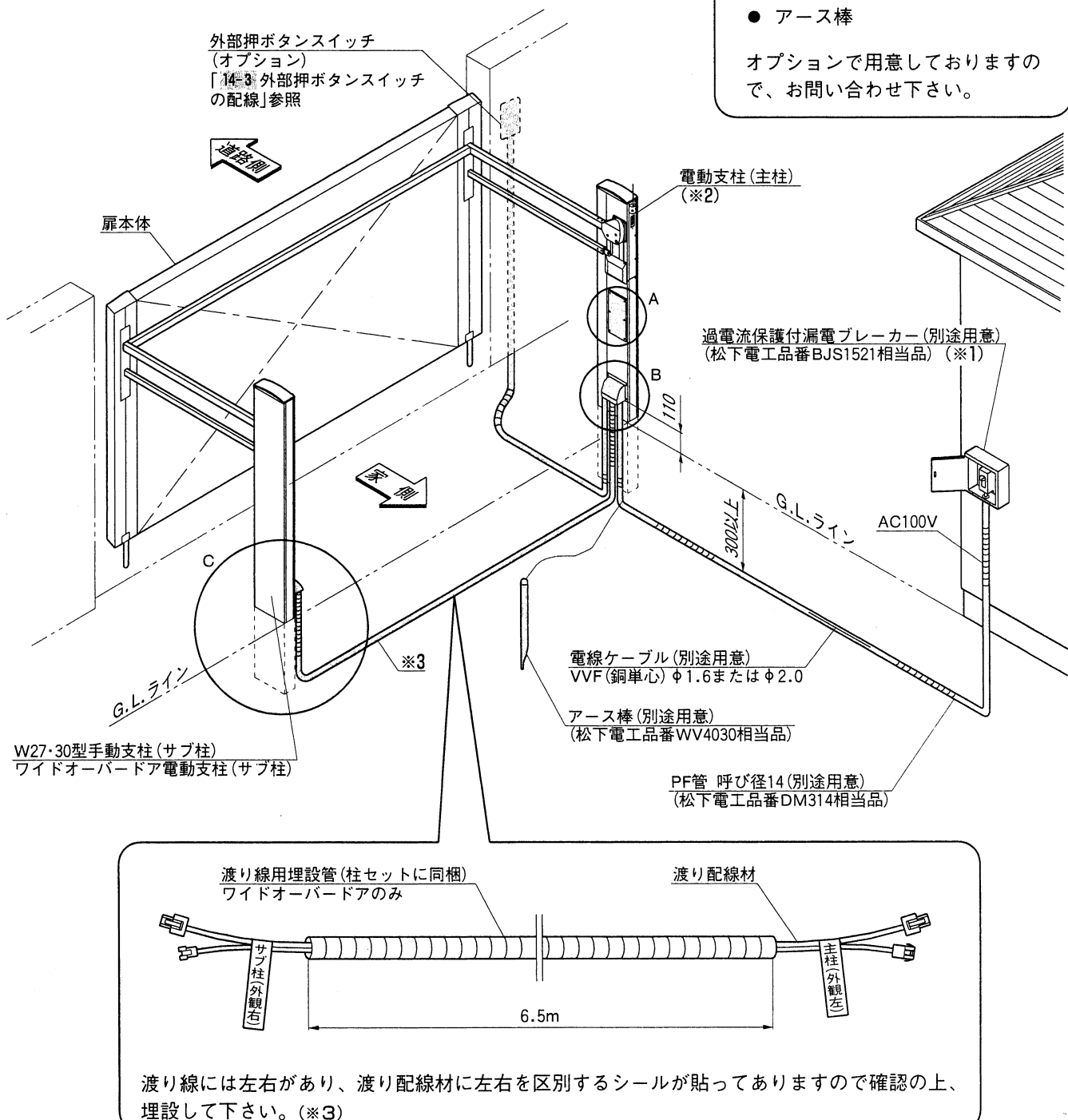
■「14. 配線」以降の施工に関しては、電気工事の有資格者に作業を依頼して下さい。

14-1 電源および渡り線の配線

オプション

- 過電流保護付漏電ブレーカー
- アース棒

オプションで用意しておりますので、お問い合わせ下さい。

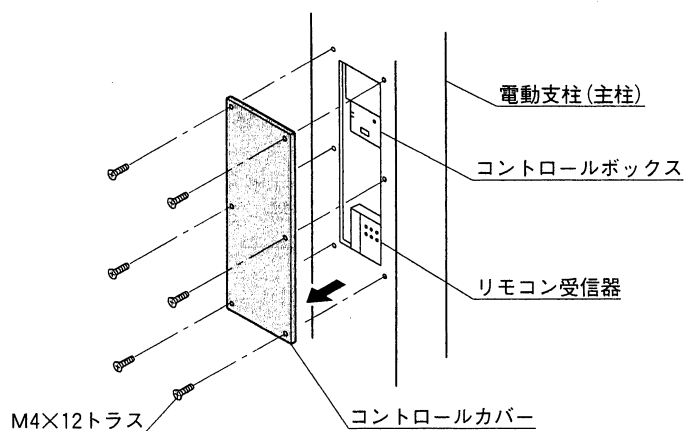


<注 意>

- 施工には、別途過電流保護付漏電ブレーカーおよび埋設用PF管(呼び径14)、電線ケーブル、アース棒が必要となりますので用意して下さい。
- 電源用電線ケーブルは必ず過電流保護付漏電ブレーカーに接続して下さい。(※1)
- 電動支柱(主柱)には必ずアース(第三種接地工事)をとって下さい。(※2)
- W27・30型には渡り配線はありません。(※3)

14. つづき

14-1 つづき

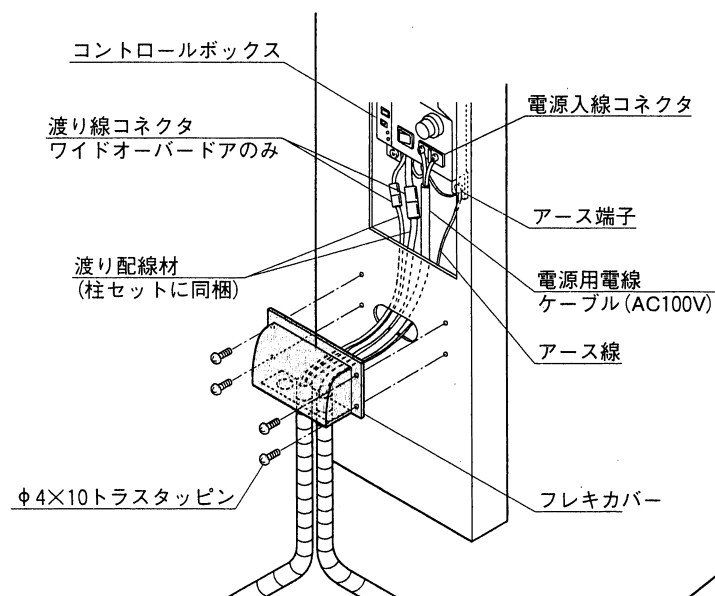


A図(A部分詳細図)
<コントロールカバー部>

- ① コントロールカバーのネジ(M4×12トラス) 6本をはずし、コントロールカバーの下側を手前に引っ張るようにしてはずして下さい。

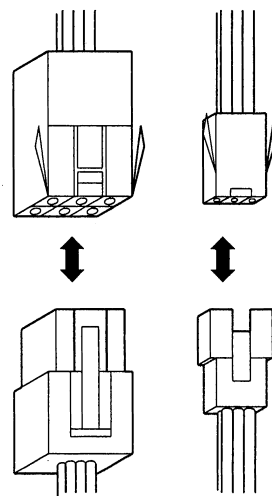
<注意>

- コントロールカバーを取付けるときは、ネジの締め忘れのないように注意して下さい。



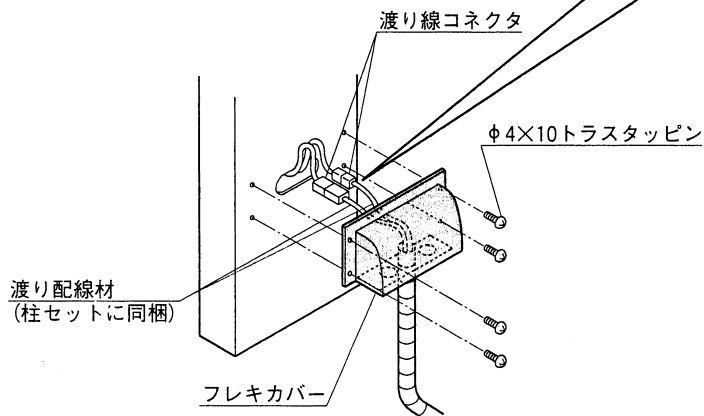
B図(B部分詳細図)
<電動支柱(主柱)>

電動支柱(サブ柱)側



渡り配線材

電動支柱(サブ柱)コネクター部

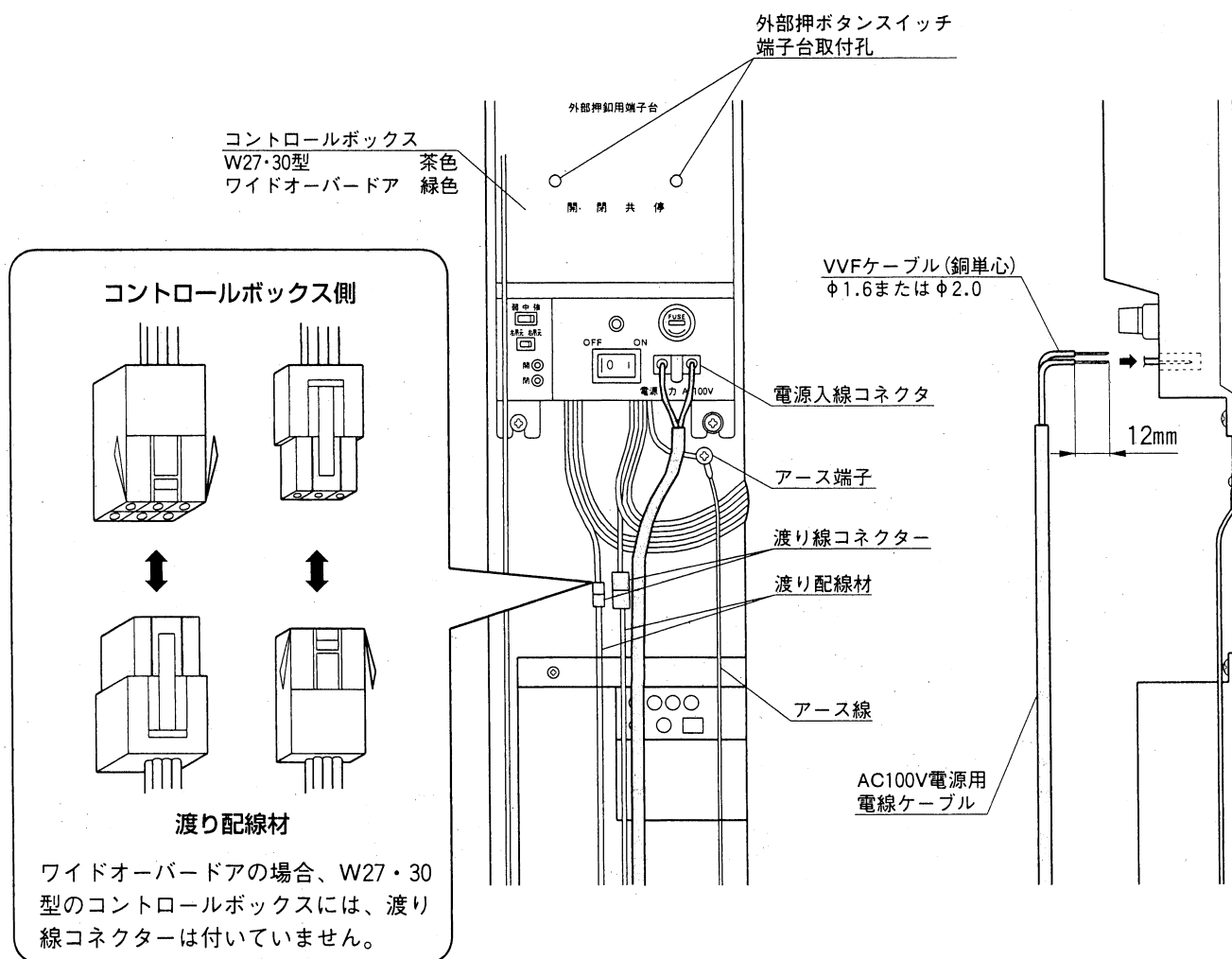


C図(C部分詳細図)
<電動支柱(サブ柱)>

<注意>

- コネクター接続は確実にしない必ず、防水テーピングを施して下さい。防水テーピングをしないと動作不良、漏電などの原因となります。

14-2 コントロールボックスの配線



D図

<電源線の接続>

- ① コントロールカバーをはずして下さい。(P16 A図参照) コントロールカバーをはずすとD図が見えます。
- ② 過電流保護付漏電ブレーカーを家側に取付けて下さい。(P15参照)
- ③ D種接地工事を行なって下さい。(P15とD図参照)
- ④ 16ページB図で通したAC100V電源用VVFケーブルを、D図のようにコントロールボックスの電源入線コネクタに奥まで差込んで下さい。(銅単心部は12mm必要です。)

<渡り配線材の接続>

(ワイドオーバードアの場合)

ワイドオーバードアには電動支柱(サブ柱)にもモーターを内蔵しているため、渡り線の配線が必要となります。

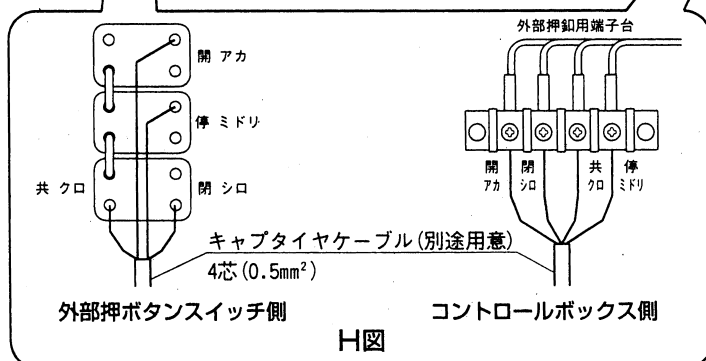
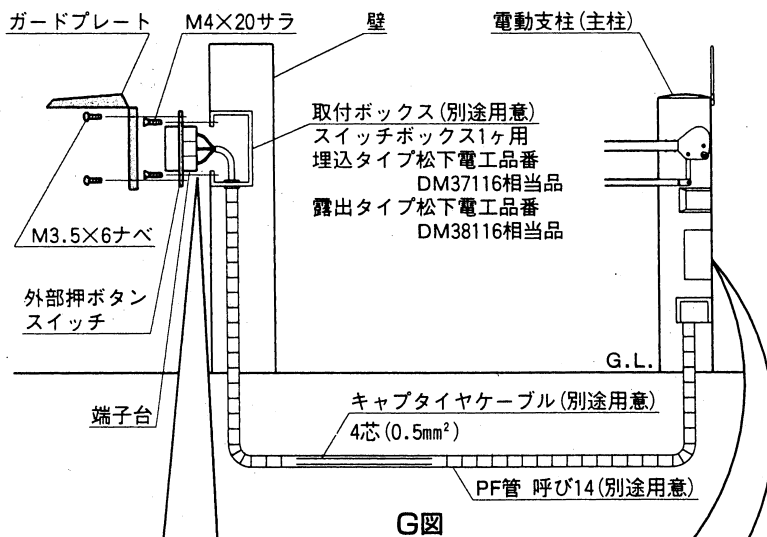
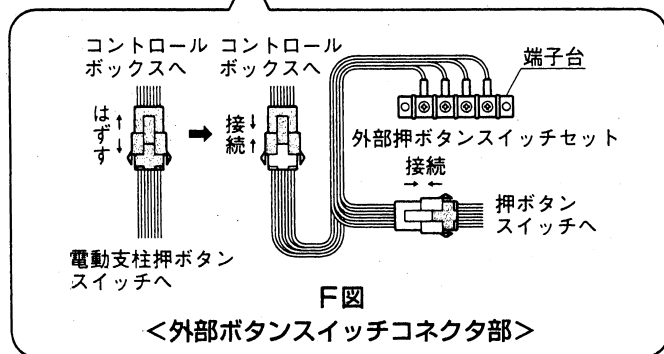
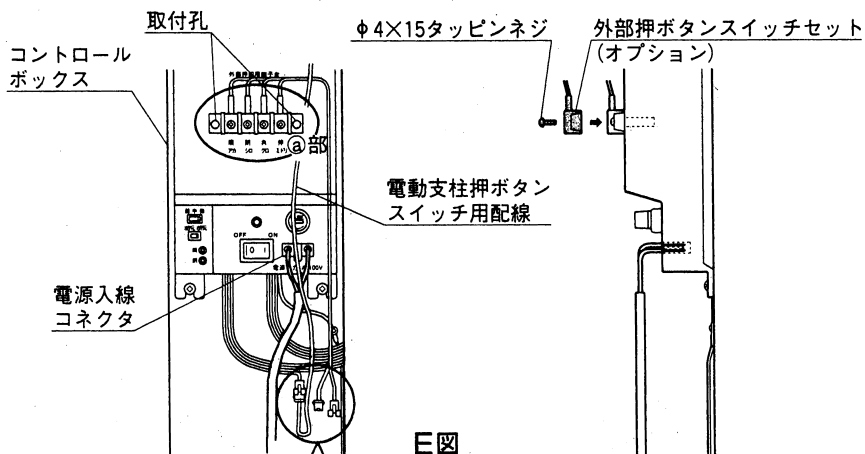
- ① 16ページB図で通した渡り配線材をD図のコントロールボックスから出ている渡り線コネクタに差込んで下さい。
- ② 渡り配線材を電動支柱(サブ柱)から出ている渡り線コネクタに差込んで下さい。(P16 C図参照)

<注意>

- 外部押ボタンスイッチをお求め頂いたお客様は、コントロールカバーを取付ける前に、P18「14-3 外部押ボタンスイッチの配線」を行なって下さい。

14. つづき

14-3 外部押ボタンスイッチの配線(オプション)



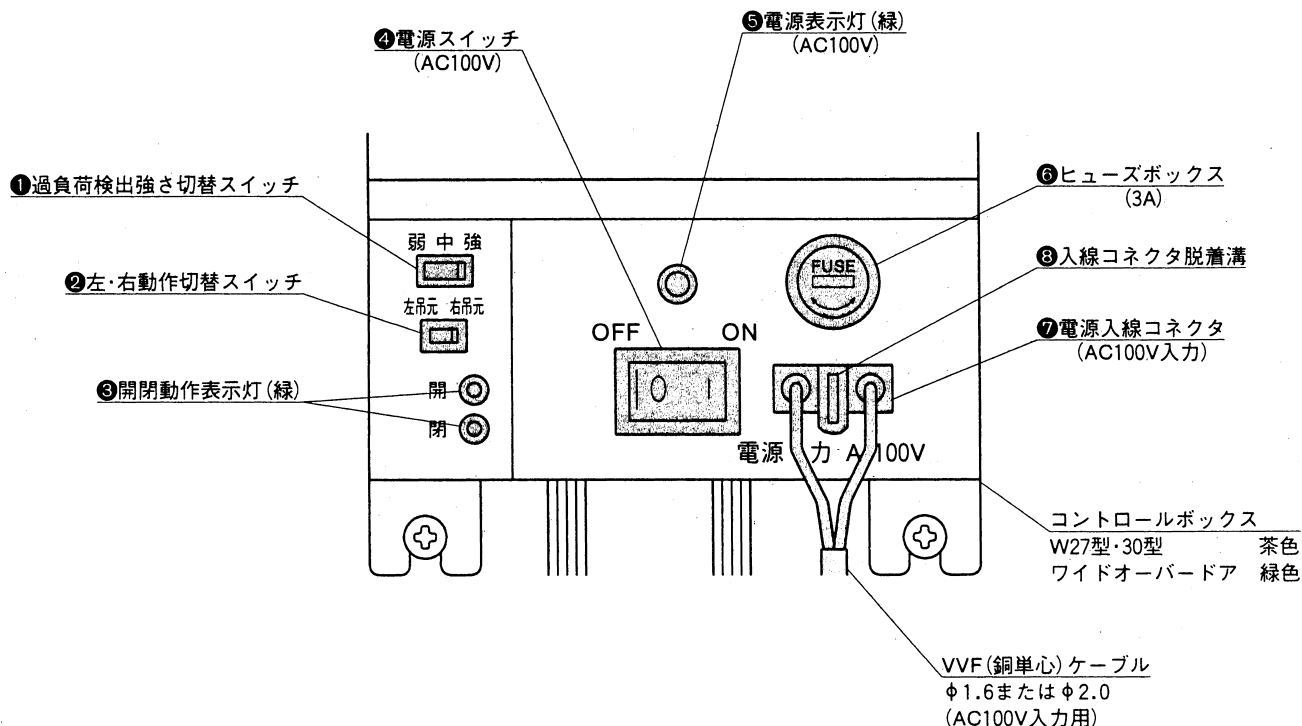
- ① 外部押ボタンスイッチセットの端子台を、E図のコントロールボックス②部にΦ4×15タッピンネジ2本で取付けて下さい。
- ② 外部押ボタンスイッチのコネクタを差替えて下さい。(F図参照)
- ③ 取付ボックス(市販スイッチボックス1ヶ用)を用意して下さい。(G図参照)
- ④ キャプタイヤケーブルを電動支柱(主柱)のフレキカバーから通して下さい。(P16 B図参照)
- ⑤ コントロールボックス側の端子台にキャプタイヤケーブル(4芯)を接続して下さい。(H図参照)
- ⑥ 外部押ボタンスイッチ側の端子台にキャプタイヤケーブル(4芯)を接続して下さい。(H図参照)
- ⑦ 外部押ボタンスイッチを取付ボックス(別途用意)にM4×20サラで固定して下さい。(G図参照)
- ⑧ ガードプレートを外部押ボタンスイッチにM3.5×6ナベで取付けて下さい。(G図参照)
- ⑨ ガードプレート外周をシーリングして下さい。
- ⑩ 配線作業が終了したらコントロールカバーを取付けて下さい。(P16 A図参照)

＜注意＞

- キャプタイヤケーブル(0.5mm²)の長さは50m以内で設置して下さい。50mを超えると押ボタンでの操作に支障を来します。

15. コントロールボックスの名称および働き

■「14. 配線」の作業が終了した事を確認して下さい。



① 過負荷検出強さ切替スイッチ

扉が動作中に人や車、障害物等に衝突した時に、大事故を防ぐために設定されている安全装置です。開閉動作中に安全装置が作動した場合、1秒間後退して停止します。
通常出荷時、スイッチは「強」に設定してあります。電動オーバードアでは、必ず出荷時の状態のままで固定しておいて下さい。

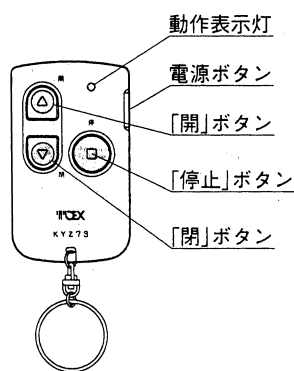
<注意>

- 「弱」「中」は他製品(電動引戸他)で使用するポジションです。電動オーバードアでは使用できません。
- ② 左・右動作切替スイッチ
引戸などの左・右動作する製品に使用するスイッチです。電動オーバードアでは、必ず出荷時の状態のままで固定しておいて下さい。(出荷時、右側)
- ③ 開閉動作表示灯(緑)
電動支柱が開動作、閉動作時にランプ(緑色)が点灯します。
- ④ 電源スイッチ
電動支柱の主電源を「ON・OFF」するスイッチです。「OFF」にするとすべてのコントロール機能が停止します。
- ⑤ 電源表示灯(緑)
電源スイッチを「ON」にしてAC100Vがコントロールボックスに供給されるとランプ(緑色)が点灯します。電源スイッチを「OFF」にしたり、家側ブレーカーが作動しAC100V電源の供給がストップした場合には消灯します。
- ⑥ ヒューズボックス
3Aのヒューズが入っています。非常時、故障時以外は脱着する必要はありません。
- ⑦ 電源入線コネクタ
コントロールボックスのAC100V電源入力用コネクタです。ワンタッチで脱着できますが、使用ケーブルはφ1.6またはφ2.0のVVF(銅単心)ケーブル専用となっています。
- ⑧ 入線コネクタ脱着溝
VVFケーブルを抜く必要があるときは、この溝にマイナスドライバー等を差し込みながら引いて下さい。

16.使用方法

16-1 リモコン送信器での操作方法

リモコン送信器の押ボタンを押して扉を開閉して下さい。



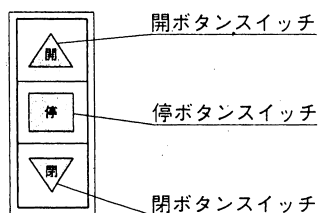
MD-3リモコン送信器

<注 意>

- ① 電源ボタンを押して下さい。動作表示灯が点滅します。
 - 動作表示灯の点滅時間は約15秒間です。15秒を経過すると点滅は自動的に消え、②の操作をしても送信が行われなくなります。
 - ② 動作表示灯点滅中に「開」ボタンを押すと、動作表示灯が点灯し扉が開きます。途中で停止させるときは、「停止」ボタンを押して下さい。
 - ③ 動作表示灯点滅中に「閉」ボタンを押すと、動作表示灯が点灯し扉が閉じます。途中で停止させるときは、「停止」ボタンを押して下さい。
- #### <注 意>
- リモコン送信器の実用到達距離約10m以内で操作して下さい。
 - 開／閉動作中に、逆方向の閉または開動作をさせるときは、必ず一度「停止」ボタンを押してから、次の押ボタンを押して下さい。
 - 「停止」ボタンだけは、電源ボタンを押さなくても送信が可能となっています。

16-2 電動支柱押ボタンスイッチでの操作方法

電動支柱に付いている押ボタンスイッチを押して扉を開閉して下さい。

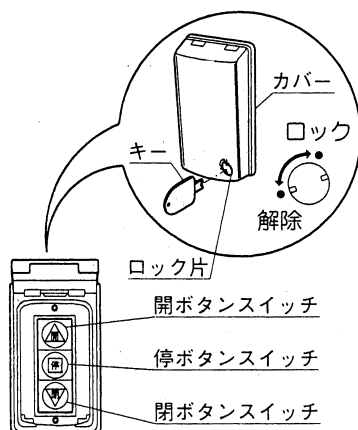


押ボタンスイッチ

- ① 開ボタンスイッチを押すと扉が開きます。
- ② 停ボタンスイッチを押すと扉が停止します。
- ③ 閉ボタンスイッチを押すと扉が閉じます。

16-3 外部押ボタンスイッチでの操作方法(オプション)

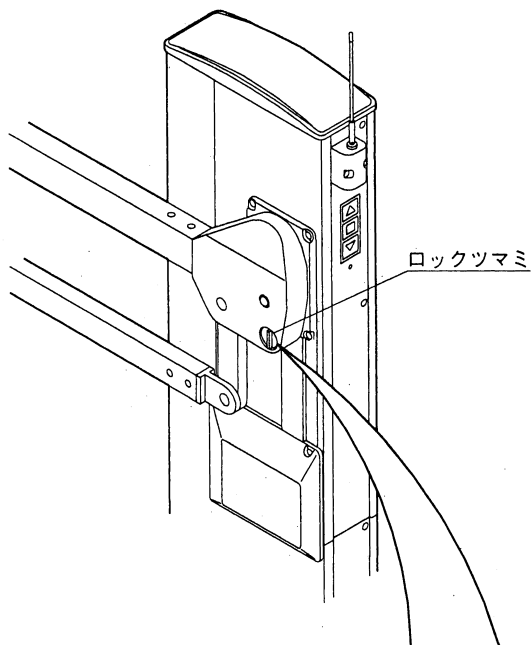
道路側に付ける外部押ボタンスイッチを押して扉を開閉して下さい。



外部押ボタンスイッチ

- ① 付属のキーをロック片に差込み、左にまわしカバーを開けて下さい。
- ② 開ボタンスイッチを押すと扉が開きます。
- ③ 停ボタンスイッチを押すと扉が停止します。
- ④ 閉ボタンスイッチを押すと扉が閉じます。
- ⑤ カバーを閉め、付属のキーをロック片に差込み、右にまわしロックします。

16-4 ロックツマミの使用方法



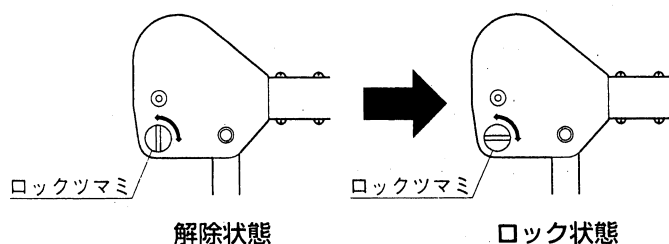
全閉時に扉を固定(ロック)するとき 사용합니다。

- ① ロックする場合はロックツマミを押し込んで、ツマミが水平な状態になるまでまわして下さい。

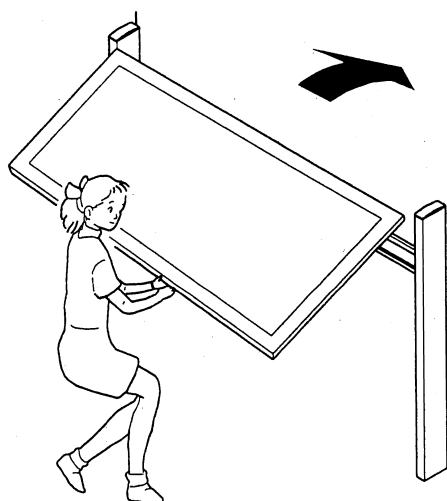
- ② ロックを解除する場合はロックツマミを押し込んで、ツマミが垂直な状態になるまでまわして下さい。

<注 意>

- この電動装置には、自動施錠機能はありません。夜間および強風時等は安全のため、ロックツマミをロック状態にして扉を固定して下さい。
- 電動で扉を開ける場合、必ずロック解除して下さい。ロック状態のまま扉を開けると、駆動部が破損する恐れがあります。



16-5 電動で動かせないときの操作方法



非常時(停電、故障)など、電動で動かせないときは手動で動かすことができます。

- ① 扉の中心部分を手で持ち開閉して下さい。

<注 意>

- 扉の開閉時に約15~20kgの力が必要となります。
- 手動での開閉は非常時(停電・故障)のときに限り行なって下さい。通常は電動操作で使用して下さい。
- 電動で扉を開ける場合、必ずロック解除して下さい。ロック状態のまま扉を開けると、駆動部が破損する恐れがあります。

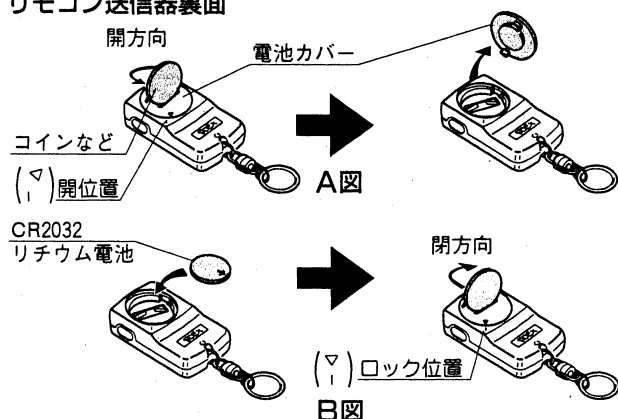
17. リモコンについて

■リモコン送信器の実用到達距離は約10mなのでその範囲内で操作をして下さい。

17-1 電池の入れ方

送信器はコイン型リチウム電池(CR2032)を1個使用します。出荷時、電池は部品として本体と同梱されています。

リモコン送信器裏面

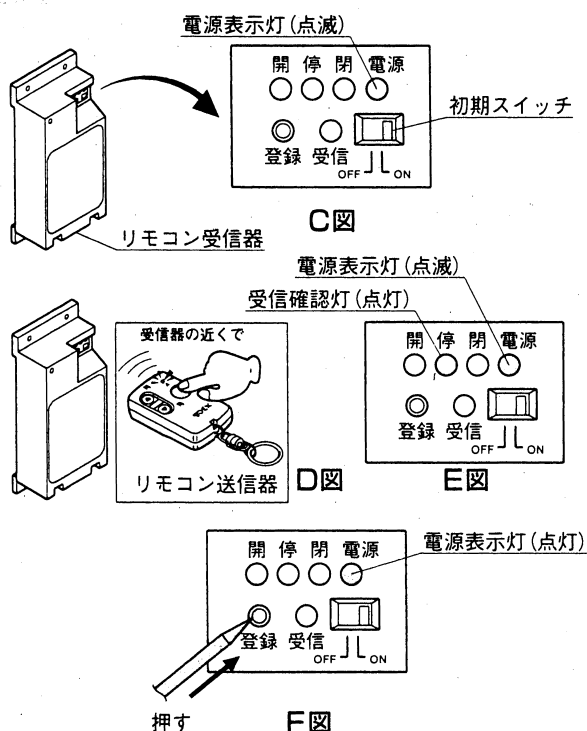


- ① 送信器裏側、カバーの溝にコイン等を差し込み、矢印方向に回して電池カバーを外して下さい。(A図参照)
- ② 電池は「+マーク」が見える向き(上側)ではめ込んで下さい。(B図参照)
- ③ 電池カバーを、はずした位置で差し込み、コイン等で矢印方向(時計方向)に回して閉めて下さい。(B図参照)

<注意>

- 「マーク」を合わせます。「締め忘れ」に注意して下さい。(B図「ロック位置マーク」参照)

17-2 登録方法



- ① 電動支柱のコントロールカバーをはずして下さい。(P16 A図参照)
- ② リモコン受信器の初期スイッチを「ON」側に、電源表示灯(緑色)を点滅させます。点滅しない場合は、初期スイッチを一度「OFF」にして、もう一度「ON」側にして下さい。(C図参照)
- ③ リモコン送信器の「停止」ボタンを、受信器近くで押して登録します。受信確認灯「停」が赤色点灯し送信器登録が完了します。(D・E図参照)
- ④ リモコン送信器の登録操作後、受信器の「登録スイッチ」をボールペンの先などで押して登録、または電源表示灯の点滅が「点灯」に変わるまで待ちます。「点灯」表示で受信器登録が完了します。(F図参照)
- ⑤ はずしたコントロールカバーを取付けて下さい。ネジの締め忘れのないように注意して下さい。

<注意>

- 受信器への登録は、必ず電源表示が「点滅している1分間」に操作して下さい。
- 登録スイッチを強く押しすぎないで下さい。スイッチの故障の原因になります。

17-3 追加登録方法

- ① リモコン受信器の登録スイッチをボールペンの先端などで押して電源表示灯を点滅させます。(F図参照)
- ② 「17-2 登録方法」の③、④の操作をして下さい。
 - リモコン受信器1台でリモコン送信器16台まで登録できます。
 - 複数のリモコン送信器をご使用になる場合は、別売り品のリモコン送信器セット(KYZ73)をお求め頂き上記手順でセットして下さい。

<注意>

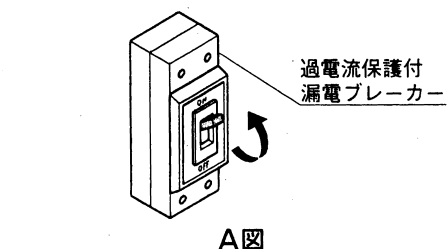
- 「リモコン登録抹消」以外の目的で、初期スイッチを「OFF」にした場合、登録している送信器はすべて操作できなくなります。

17-4 登録取り消し方法

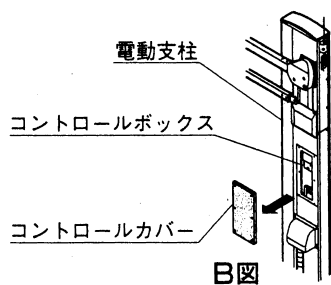
- ① すべての登録を取り消す場合は、リモコン受信器の初期スイッチを「OFF」側にして下さい。

18. 施工の確認

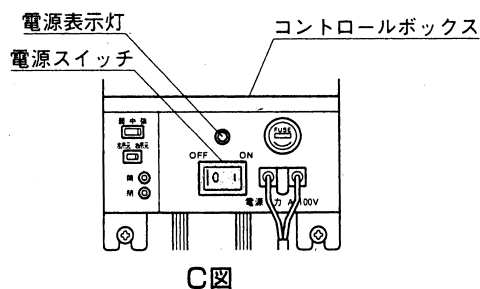
18-1 電源の投入



- ① 家側に設置した過電流保護付漏電ブレーカーを「ON」にして下さい。(A図参照)

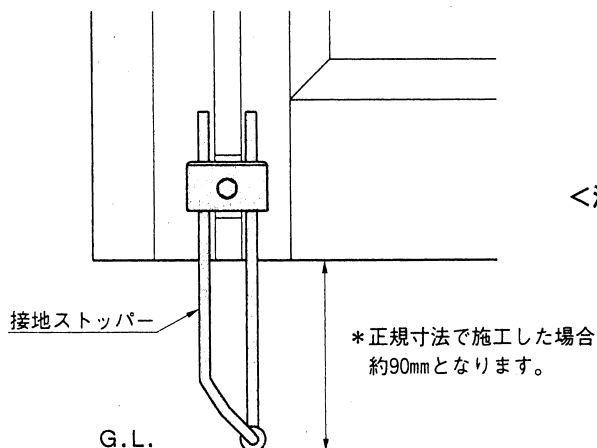


- ② 電動支柱(支柱)のコントロールカバーをはずして下さい。(P16 A図参照)



- ③ コントロールボックスの電源スイッチを「ON」にし、電源表示灯が点灯(緑)している事を確認して下さい。(C図参照)
- ④ 全ての調整、確認が終了したときに、コントロールカバーを閉めて下さい。ネジの締め忘れのないように注意して下さい。

18-2 接地ストッパーの位置決め



- ① 扉を電動で数回開閉してください。

- ② 数回開閉した後、全閉の状態で接地ストッパーを伸ばしG.L.面に軽く当たるように調節してください。

<注意>

- モーターが停止する前に、接地ストッパーがG.L.面に当たらないように調節してください。停止位置はあらかじめ電装部内で決められていますので、電動で扉を全閉した位置が停止位置となります。
- 接地ストッパーを伸ばしすぎたり、引き込みすぎると駆動部が破壊、または耐久性性能が低下する可能性があります。

18. つづき

18-3 作動テストと確認 (電動での作動テストはロックツマミのロックを解除した状態で行なって下さい。)

<注 意>

- アームをロックした状態で開閉すると駆動部が破損する場合があります。

項 目	テストと正常作動	異常と対応処置
供給電源の確認	● コントロールボックスの電源表示を確認 ✕ 電源表示灯が点灯(緑)している	✕ 点灯(緑)しない ● 配線の確認(15～18ページ参照)
リモコンおよび各押ボタンスイッチの作動確認	● 押ボタンスイッチ「開」、「停」、「閉」を押して確認 ✕ 動作方向が一致している ✕ 全開、全閉位置で停止する ✕ 動作中、振動・異音がしない	✕ 反対に作動する ● 左右動作切替スイッチの確認(19ページ参照) ✕ 作動しない ● リモコンアンテナの確認(13ページ参照) ● 配線の確認(15～18ページ参照) ● リモコン使用範囲の確認(22ページ参照) ● リモコン登録の確認(22ページ参照) ✕ 手前で停止または反転する ● 扉の取付けおよび接地ストッパー位置の確認(11,12,23ページ参照) ✕ 振動・異音がある ● アームの取付けの確認(9,10ページ参照) ● 扉の取付けの確認(11,12ページ参照) ● アーム連結棒取付けの確認(10ページ参照)
電動支柱機能の作動確認	● 扉動作中の確認 ✕ 開閉動作中に負荷をかけると停止する ✕ 途中で停止しないで動作する	✕ 停止しない ● 配線の確認(15～18ページ参照) ✕ 動作中すぐ停止する ● 過負荷検出強さ切替スイッチの確認(19ページ参照) ✕ 扉が動作しない ● ロックツマミの確認(21ページ参照)

●…確認マーク ✕…動作マーク

■以上で施工は終了です。ご使用いただきましてありがとうございます。

19.仕様

電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力(動作時)	オーバードア(W27・30型) 約60W ワイドオーバードア 約80W
モーター定格出力	オーバードア(W27・30型) 15W(1モーター) ワイドオーバードア 10W(2モーター)
周 囲 温 度	－10℃～50℃
開 閉 時 間	11.5秒(50Hz) 10秒(60Hz)
リモコン到達距離	見通し距離 約10m (使用環境で短くなる場合があります。)
操 作 方 法	電動柱押ボタンスイッチ、リモコン送信器

工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

- ご使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取ってください。また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取ってください。

取説コード

D254

97-10A
200101E